

令和5年度 学校経営計画表(中学)

1 学校の現況

学校番号	中学3		学校名	茨城県立水戸第一高等学校附属中学校							課程			学校長名	御厩祐司		
副校長名	石井伸一						教頭	久保佳彦			富澤英士			事務室長名	佐藤総英		
教職員数	教諭	13	養護 教諭	1	常勤 講師	1	非常勤 講師	0	実習 教諭	0	事務 職員	0	技術 職員等	1	計	21	
生徒数	1年			2年			3年			合計			合計クラス数				
	男		女	男		女	男		女	男	女						
	40		40	40		40	40		40	120		120	6				

2 目指す学校像

- 真理を愛する学問第一の校風の下、質が高く、活気ある授業や課題研究、社会と連携した教育プログラムを展開する学校
- 自主自立の精神を重視する自由な校風の下、生徒が何ごとにも主体的に取り組むとともに、中高・学年の枠を超えて切磋琢磨する学校
- 至誠一貫・堅忍力行の校是の下、豊かな人間性や最後までやり抜く力を育むとともに、高い目標に挑む生徒をしっかりと支援する学校

3 現状分析と課題

項目	現状分析	課題
学校経営	1 令和3年度の中学開校以来、試行錯誤しつつ、効果的で効率的な学校経営を模索し、学校としての大枠は構築されつつある。 2 科学の甲子園ジュニア茨城県大会に2チーム出場し、うち1チームは県代表として全国大会に出場するなど、生徒が各方面で活躍することができた。	1 教職員間の共通理解を十分に図りながら、学校経営に必要な様々なシステム等を完成させていく。 2 地域の期待に応えられるよう、充実した教育活動を行うとともに、教育活動等の情報発信を積極的に行う。
中高連携	1 特別活動や教科において、合同での学校行事（クラスマッチ、学苑祭、歩く会など）や部活動、合同道徳、総合的な探究など、中高で連携して実施することができた。 2 高校籍教員に専門性を生かした特別講義を行っていただき、生徒の興味関心を高めることができた。 3 総合学習において高校生と交流したり、自治体を含めた地域と連携したりすることで発表内容を深めることができた。	1 6年間のつながりを意識し、特活部等と連携して各種特別活動運営を推進する。 2 +4学年活動など中高・学年の枠を超えた活動を通じて他者との関わり方や多面的、多角的な見方、考え方の育成に努める。 3 生徒情報について高校籍も含めた教員間で情報交換をする機会を増やし、対応等についても共通理解を徹底していく。
働き方改革	1 超過勤務時間が45時間を超え、80時間以下の教職員数 8名（4月）→3名（12月） 平均超過勤務時間数 46.41（4月）→34.30（12月） 参考:R3年度平均超過勤務時間数 52.19（4月）→35.22（12月） 2 時差出勤活用者数 延べ47名	1 業務内容の見直しや会議の効率化を図り、超過勤務者の減少につなげる。法令遵守（コンプライアンス）を徹底する。 2 時差出勤の積極的な活用を促す。

4 中期的目標

- 1 中高連携の下で教育課程や学習・進路支援の改善・充実を進め、中高一貫教育校としても我が国を代表するリーディングスクールとして認知されること
- 2 同窓会（知道会）や福祉団体等とも連携し、経済面等で困難な状況にある者への支援や情報提供を充実させ、教育の機会均等を徹底すること
- 3 校務の合理化・効率化、働きやすい職場環境を絶えず追究し、学校運営の持続可能性を最大限高めること

5 本年度の重点目標

重点項目	
教育課程・学習支援の改善・充実	①中高連携・教科横断で授業改善を図り、生徒の授業満足度（90％以上）を向上させる。 ②生徒全員がICT端末を有するBYOD環境の下、教育・学習活動におけるICTの有効活用を図る。 ③科学の甲子園ジュニアをはじめ、他校生と切磋琢磨する「他流試合」への参加を奨励し、活躍を支援する。
進路支援の改善・充実	④キャリア教育を推進して進路意識を高揚させるとともに、高校と連携し難関大学や医学部医学科をはじめ生徒の第一志望実現を支援する。
中高・学年の枠を超えた活動の推進	⑤附属中学校の完成を踏まえ、＋４学年活動など中高連携での活動や特別活動の改善・充実を図るとともに、体験型部活動を推進する。
健康・安全の確保と法令遵守の徹底	⑥最後までやり抜く力の育成や教育相談環境の整備を図るなど、生徒の心身の健康・安全を確保する。 ⑦業務改善を進め、職員の心身の健康・安全を確保するとともに、法令遵守を徹底し、違反件数ゼロを目指す。